

共に生きる

1 年学年通信 No.11

R4. 6. 13.

キャリア教育 ～生きる力をつける～

1 年団では、キャリア教育に取り組んでいます。キャリア教育とは、一人一人の社会的・職業的自立に向け、必要な基盤となる能力や態度を育てる教育です。つまり、「どう生きるか」を自ら考え、行動する力をつけていく「生き方教育」です。

次の4つの力を、3年間で身につけていきましょう。



- | | |
|----------------|------------------------------------|
| 1 人間関係・社会形成能力 | 【人や社会と ^{つな} 繋がる力】 |
| 2 自己理解・自己管理能力 | 【過去・現在・未来の自分を ^{つな} 繋げる力】 |
| 3 課題対応能力 | 【課題を発見し ^{みずか} 自ら考え学び続ける力】 |
| 4 キャリアプランニング能力 | 【主体的に ^{しゅたい} 生き方を選び実現する力】 |

6/6(月)に、「自分のキャリア(立場・役割)について考えよう」という授業をしました。感想の一部を紹介します。

自分の立場・役割とはなんだろうと、最初は思っていたけど、考えていくと、自分のいろいろなことを知ることができた。

家庭や学校での役割がたくさんあった。それに対して、「役に立ってうれしい」気持ちや、「参加できて楽しい」気持ちがあった。

家族の一人として、いろいろな役割をしっかりとしたい。将来、やりがいを感じる仕事につきたい。

みんな、家庭でちゃんとした役割をもっている人が多く、びっくり。

自分がやっていることは、思ったより少なかった。これから増やしていければ、もっと地域や家族のためになるかな？ 家庭でやっていることを、もうちょっと増やそう！

自分は〇〇委員なのに役割をはたしていない。このままの自分ではダメだと思った。何事も自分から挑戦することが大事だと思った。

将来自分はどうなるんだろう。

自分が仕事などをして、相手が喜んでくれたり、自分が満足できたりしたらやりがいがあるから、相手がやっていたら自分も「ありがとう」など、声をかけていきたい。

三年後、もう、高校生になるから、自分の立場・役割を大切にしていきたい。

地域での役割が少なかった。よりよい場所を作るために、地域の活動にもっと積極的に参加したい。年をとるにつれていろいろな立場に立つ。その時のために、今からいろんなことを体験して、困らないようにしたい。



自分の人生を創っていくのは自分自身。

「今日」の積み重ねが未来の自分につながっていく...